



令和3年(2021年)第31週 2021年8月2日(月)~2021年8月8日(日)

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報



## ●ダニ媒介感染症に注意しましょう

マダニなどは春から秋にかけて活動が盛んになります。ダニ媒介感染症は、主に病原体を保有するダニに咬まれることで起こるので、ダニに咬まれないように気をつけましょう。

主なダニ媒介感染症【厚生労働省「ダニ媒介感染症」】ホームページより抜粋。詳しくはそちらをご覧ください。

厚生労働省  
「ダニ媒介感染症」



病名	媒介するダニ	主要症状	潜伏期間
つつが虫病	ツツガムシ	頭痛、悪寒、全身倦怠感、食欲不振、高熱、発疹(主に体幹部)重症になると肺炎や脳炎症状。	約5~14日
にほんこうはんねつ 日本紅斑熱	マダニ	頭痛、全身倦怠感、高熱、発疹。	約2~8日
重症熱性血小板減少 症候群(SFTS)	マダニ	発熱、消化器症状(嘔吐、下痢等)、時に頭痛、神経症状(意識障害、けいれん等)、呼吸器症状、出血症状。	約6~14日

## ◆マダニに対する予防法は？

特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。

草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン(シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する)、足を完全に覆う靴(サンダル等は避ける)、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、**肌の露出を少なくすることが大事**です。

服は、明るい色のもの(マダニを目視で確認しやすい)がお薦めです。虫除け剤の中には服の上から用いるタイプがあり、補助的な効果があると言われてしています。また、屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認して下さい。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部(髪の毛の中)などが確認ポイントです。

## ◆マダニにかまれた場合は？

マダニ類の多くは、ヒトや動物に取り付くと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長時間(数日から、長いものは10日間以上)吸血しますが、咬まれたことに気がつかない場合も多いと言われてしています。吸血中のマダニに気が付いた際、無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残って化膿したり、マダニの体液を逆流させてしまったりするおそれがあるので、医療機関(皮膚科など)で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらってください。

また、マダニに咬まれた後、**数週間程度は体調の変化に注意し**、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。



期 間		2021年 30週		2021年 31週	
		7/26~8/1		8/2~8/8(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症		16	1.00	4	0.25
咽頭結膜熱(プール熱)		10	0.63	7	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5	0.31	3	0.19
感染性胃腸炎	<b>注意</b>	21	1.31	23	1.44
水痘(みずぼうそう)		1	0.06	3	0.19
手足口病	<b>警報レベル!!</b>	84	5.25	79	4.94
伝染性紅斑(りんご病)		1	0.06	1	0.06
突発性発しん		8	0.50	7	0.44
ヘルパンギーナ		9	0.56	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		2	0.40	4	0.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00